関に上る訓蔵埼簀を除いてもを示して昭和二年上明以来の別に上る訓蔵埼簀を除い、北中三億六千萬

最い大以の激をしている。

責は可及的避けられ

たものまでが、まるで

刀のない時で

移動さなり其預金引出に蒸くには政府預金の民間預金へのには政府預金の民間預金への

然し乍6日銀引受条債の最 仮は昂騰すべく明待せ

る爲替相場に就では米値の

和六年上明以米増稠を示した相を示し、殊に製造工業は昭

は、略称頃より年度末に 東朝せられる所であり、其限 が関の需要増加に基いて物 が関いるべきは一般に を出は、略称頃より年度末に を対しているがであり、其限

止の必然的要因ではない

種に於て見たのみにて

を記事の活況を示して業績も著し の新を見、新くの如き趨勢 に伴ひ。企業計画も著増を見

對して八、七がを示すに至っ七が及同年下期の七、四%に一七が及同年下期の七、四%に

観楽たりて前途を展望す

り考慮せられるも。夫は物質に影響する所あるべきは繋よれて間接的に成程度商品市場

★年上半期の財界は事業界

上半期

0

回顧を

一般消費品の成内向費打の不 提を反映してるる。最近顧品 に伴び繋村地方の肥料購買力 は好影響を受りたるかに見る れるも一般購買力の輸進は尚

我財界の前途

半期以來毎期の最高に達した

増加し、調査したる一五六世界さして事業會社の利益率は前配の如き推移の常然の結

小震物價も或程度避費すべきの俸給賃銀の支排増加に因りの俸給賃銀の支排増加に因りの俸給賃銀の支排増加に因り

(イ) 棚村、棚税財制税、利 の職收(ロ)保税倉庫其他 保税協域に関する事項(ハ)

既将の如く本日の参詢府會翻 の可決を見た新税職官制によ の可決を見た新税職官制によ の可決を見た新税職官制によ の可決を見た新税職官制によ の可決を見た新税職官制によ の可決を見た新税職官制によ の可決を見た新税職官制によ の可決を見た新税職官制によ の可決を見た新税職官制によ の可決を見た新税職官制によ

合理化

産業立國の大目的に躍進

實業部の計畫

部内組織を

財政部總長に属し、税職の管理は特官制によれば税益の管理は、税職分額を設置し、税職分額

## **□日四十月二十年九正大** □可求的便鄉種三多

## 所洲國稅關 八大税闘の統轄下 よ の全貌 3

(\*)税制の必要整備(+)編の取締(こ)線税调野の取締及び 一千名の税官吏を動員

成分(チ 開税 向は税譲長 世代 税によって定めらると事こな 大税額の管轄區域は財政部總長は所屬税額長 大税額の管轄區域は財政部總長 は所屬税額長 役によって定めらる。

九月上旬着工

上欧明買收に管手するさ36 あこご・なり、数ロ中に公島 のこご・なり、数ロ中に公島 て投資費六十八萬國の適遇を農事試驗場は二年度豫算に於 より述祭に若手

產業振興 ポスター

濱田篤一郎

高の傾向、二、世界呼音でで 具体的事質は一、米線の物質 の情勢にして特に留意すべき

勢し、低金利、健参市価値である。低金利、健参市価値である。 さに努力しつつあるこさが脱 変法案の内容を喰すれば米崎 要法案の内容を喰すれば米崎 貴を導きつつある事情も総價高が其他主要諸國の物質 はれる、此き同時に米図の

よく照顧的に世界の物質水準なくして鶴り米崎の物質活がなくして鶴り米崎の物質活が低い物質活が さう思ふと形太子、紫暗気の変したかれて、飛ぶ鳥も数すそうな勢ひだえれて、飛ぶ鳥も数すそうな勢ひだえれて、飛ぶ鳥も数すそうな勢ひだえ

質の人機の影響になったことが戯けてなったの変形が、まるで寄り附かなくなったのを見ると、彼は靴々近方になってのを見ると、彼は靴々近方に 和太の胸に概力を呪ふ心が猛然 をめで似ましかった。

二階に上つて楽るやうな景勢がたしかし何時まで掘つても、純子のは子の | 一個子

びに面標法の施行。共に面標 は日本より優秀なる専門技術 に日本より優秀なる専門技術 では面標法の施行。共に面標 を現時して名賀共に陣容を でも、上産・東立地に向って一大 銀器 あるる議例ら諸君は、この際 振つて趣募さるべく、詳細は あるを議例の諸君は、この際

農事試驗所 年度極外出張率に留剛生を経 例中の別一日の重役會師で左 の如く發表した (大連一日製調班) 端壁 海外出張と留意

學

て暖が朦朧として来ると同時に、とれはきつと三十九度近くも見つな

午後になる

いたのために悩まされた。朝のとれなりで

なき順〇〇

高事部輸出課長 高事部輸出課長 第十九相錯 短道部工事課長 さまんくな気軽が目の歌に凝裂すはさまんでが、さういよ時きつと彼の目った。が、さういよ時きつと彼の目ったりが、さういよ時きつと彼の目ったりが、さらいよりは、その意味の時所のくに見えるのは、その意味の形形のく

野かなり地間の人の耳目を繋飾された事代だつたが、しかし結果とたした事代だつたが、しかし結果とたした事代だつたが、しかし結果とたした事代だつたが、しかし結果とた E要と、四五人の破跡とが、果練でして現はれたところは、二三人のと

四年街地方事務所長 中永 な然い形は総局僧ものとも別らなでないのうさ目を見たよけの事だったの世代に動いてゐた大き がれ去つてしまった。谷舟の魚をいうちに、巧に送網のあなたにの

はよいつもよりも近分位別が高自分のことなどを考へてゐた。

**東洋軒** 

電話二四三六番

私太は今朝もうとくしながられた父のことから、これから先

京

染洗張専門 電車コスIO番 にしきや

滿州九 每六十六 云目(月11回)

天草丸 (雄星・清津出帆

道具の外の具

加藤葬儀計

新京

北日本汽船株式曾社

高林

**道花及生花** 

洋版簿 各種製本專門 三空町三九

**北**對経由東京~!! 大阪~!!

一款買引東京へ国際列車

「父もやつばりその髪におの一た」となけで、何時の間にか有耶無さしたとけで、何時の間にか有耶無さしたとけで、何時の間にか有耶無さいたっちに続いてしまつた。 かくしー 政験した歌聞などもあつたけれどはいって魅んに司法書はの手続さをと は間に政職を掘ってゐるもの がつしより変形を扱いてゐるので、思いて質はうと思つて、思いて可ないて質はうと思つて、思いてあるので 出来たのだつたが、しかし眠りが いまされながら夜を明かした。そとが出来ずに、さまんへの気影に か出來ずに、さまらくの気影に りないせいか目が受めてからる

東三條領三八副条館南隣師範一西田方山

流山都

八南指

見るとによの明には、は、の姿がに さらいひでら隣に起てゐるにの おや、何度へ行ったんだらう」

財の名を呼び で め 長野商會

金華堂へ 

草履のシーズンは 小林の履物は皆様の 母手許へ参るべく 澤山参りました であるべく

印制新朝師, 電話三一OA# 式村田 金 屬 天

との別

揺

其の他 金屬壁板並二建築材料一切 ボード

**疋非**/度

B **豫洲絕新京入船町四丁目一番地** 省埠頭區石號住一〇七 電站四八二八番

松 茂 送 寓話二〇九六香 行 支 店 美俊に

お料理席

嬉

野

新京三笠町三丁目

電話三八三〇番

住宅。結婚右親切に仰紹士地、家屋質質並に仲介

2

N

Po

御藥の御用は 是非御電話にて 1二四七六番 宫野町二丁目一番地 東亞號藥房





ではいて、自分の腕一本でやつないといふことを知ると、彼は動のないといふことを知ると、彼は動のないといふことを知ると、彼は動のないといふことを知ると、彼は動のないといふことを知ると、彼は動のないといふことを知ると、彼は動の方なぞは間ないで、自分の腕一本でやつ (高根秀浩畵) 日 日 案 內

古

禁無斷上映上演

新京協会示第一二號 新京協力事務所長 元 木 章新京協会示第一二號 施爾洲湾道株式會社 施爾洲湾道株式會社 地和八年八月一日 施爾洲湾道株式會社

上を碎。

飲食時に適す と 名 在 社 電話護

宝及市新付にて至急譲り度し、 会議り度し と 名 在 社 名 在 社

こで行ってみた大戦も、中途で退って行からとぬいした。そしてそれ

電話急讓

高價買人 姓 名 在 社 

新らせてしまつた。 悪寒に襲はればれない過激な影響は、彼の簡を

網徴な熱を感じたりするこ

身を投じたのであった。

野頭工場も休まなければならな

横濱屋質店

うになった。 そし

遺金金銀

っになつたのだつたが:

但依時宜母將鐵舉日期延及之 范蒙屯 昭和八年十月11日 新京地方事務所長 荒 木

號

章

裁

東本間寺裏の略 瓦 賣

(東京一日韓國通) 民政系擴充の壁に動かされて殖民地人事移動を計畫した。 が数なく爲に一日が数なく爲に一日が数なく爲に一日が数なく爲に一日。 が数なく爲に一日。 が数なく爲に一日。 が数なく爲に一日。 が数なく爲に一日。 が数なく爲に一日。 が数なく爲に一日。 が数なく爲に一日。 の閣議は、兩相の。 をは幹旋に努めた。 は、一日。 のと、一日。 のと、 のと、

今や殖民地人事異動を中心に関内の意見は南遞相並にの開闢上程は不可能さなり延期するの已むなきに至りべきだつたが前臺灣總督たる南遞相の検信から異動案所聽に直る殖氏地の人事異動は一日の閣議で決定さる所聽に直る殖氏地の人事異動は一日の閣議で決定さる「東京二日投認適」臺灣、朝鮮兩總督府、緊東州、南洋「東京二日投認適」臺灣、朝鮮兩總督府、緊東州、南洋 政民尖鋭化さなるので中止した

> 種的社會主義建設者をつくり用され、飲料書の序文は『政用され、飲料書の序文は『政

は凡て箴宜傳那積極

の諒呼を求むる事さなつたが、その成行は非常に重いの諒呼を求むる事さなつたが、その成行は非常に重い出来ないので次回の閣議までには何さか打開策を講出来ないので次回の閣議までには何さか打開策を講出来ないので

の方策を樹て準備を開始する組織し、來るべき軍縮に萬全 組織し、來るべき軍縮に萬全に外務、際、胸の共同委員會を 視されて居る(寫真上は氷井狛科、下鳩山文相)

地域的外交樹立を目指して

「シムラー日 最 回面 」 北部印度バジョールの反亂氏に対し印度攻線は三十一日 迄に首別 音を引渡されば爆撃すべきを 者を引渡されば爆撃すべきを 者を引渡されば爆撃すべきを まり大爆撃を開始し各所に大

英空軍

印度民衆を爆撃

洲局新設

近~官制改正案提出

世事を引起した

馮の苛斂誅求

商人に加る

通信の殿堂

島は復括要求を含めても二十 信風以下にくひ止める肚であ

英陸軍演習に

假想支那匪賊團を使用

在英支那公使抗議

チチハルに

は二二千萬風さな!」 は二二千萬風さな!」 は二二千萬風さなり、事務常 二二二千萬風さなり、事務常

開東防空演習

本日より

億二、三千萬圓さなるから。之特別會計の分を除き歳出十四

林警務局長は

南洋長官に轉出か

决定せる異動内容

ソ明明中小學校の教育内情に「ハルビン」日登記述】北戦をい赤の教育

**度豫算に計上大議省へ廻附したが右の** 洲局を共に、米洲局、國際文化局等が転

制設される譯で豫算の結果外務省には滿

通過をまち官制改正案を提出する豫定である

湯軍東亞協和軍と改稱

(北平一日登越疆)最近の場で、北平一日登越疆)最近の場で、東京は武巻頭栗の買入れで極度の財政難に陥り、提家ロークをて毎月上級は十四元、中級は十三元、下級は十一元を救破税の名目で照顧的に極收し資産家に對してはその財産の額に應じて税を缴し若し不の利害があればごしくと投獄しつつあり部下兵卒の給養も毎月一元前後を支給するのみで中海末祥排斥の撃は内外より場合んさして居る。天下に

英支那公使那泰祺は本日英語

逮捕され投獄された

際し支那人を愚罪する假想支傷に終ける英國降軍の演習に

那匪賊躙を使用したこで公女

海軍補充

計畫成る

地震を表示した。 ・連続由段域に向った ・連続由段域に向った ・連続由段域に向った ・連続由段域に向った

習中英調練軍廠圏の一部が非書を以て抗騎した。右は同演

**馬討伐の** 

に除者き人心は大して動搖の な関係なく北支の戦霊は真ち に除去されるものご見て制台 に除去されるものご見て制台

反斜抗日を壁明して自る英雄 を以つて任んじて居る場も此 を取り自滅の途を辿る外はあ るまい

ものである。支那会使館間で 態で行動したさ云ふ事による 態で行動したさ云ふ事による

を以て挑励した歳、海軍者は お軍演習に際し、支那海賊船 が「ファス軍港に於ける委開 が「ファス軍港に於ける委開

支那なる言葉を除去したばか

分けて歐洲局と米洲局とを設置することとなり旣に九年地域的外交を完成する必要を認め現在の歐米局を二つにの傾向顯著なるに變み外務省の陣容を根本的に建直して(東京一日發國通)內田外相は、世界各國經濟ブロツク

朝鮮慶倫南道知事 の如し の如し 解洋聽長官 公田 正之 解洋聽長官 公田 正之

泉藏

任 少 具 中 佐 白 出 在 少 具 中 佐 市 兵 少 佐 白 出

第三

兵隊司令官 果轉の橋本憲 奉天で離満

書課長を推するのあり成は此 管課長を推するのあり成は此 ではいては関係中には萩原女 に就いては関係中には萩原女

の関係各種職を歴訓練論の検性を乗り、軍部在華機関を始めて東京、軍部在華機関を始めて東京の政治のでは 天崎軍を東亞協和軍ミ改和する中海玉祥を討伐し爾今湯
 て必中馮玉祥を討伐し爾今湯
 て必中馮玉祥を討伐し爾今湯
 は最短期間内に於
 で来た
 はまる。

米局に第一課を増化する豫定を総會議に備ふる爲現在の歌

は來る千九百三十五年の梅」(東京一日酸繊維)外務省

査委員會を設置

臺灣總督府確 臺灣總督府確 臺局長

俊吉

關東軍關係

ため委員會を設置するこささ 等の援助連絡を仰ぐ必要ある

升級移動

研東聯警務局長 林

朝鮮總督府事實局是上應由南邊知事

的は数れる生徒に共産主義 ろに依るさ、之等小學校の目 職し某機関の調査したるさと て暴行者で爲るんでするにあ、又必要に贈じ 直随を宣傳し、 何れの生徒 の日 中央軍起たば

鎧袖

支那民衆馮玉

経費の職會通過を待つて直を定、因つて外柏は右に受する

奉天省内の目覺しき

文化機關の恢復

を表えるでも、 制の復活を見た。 制の復活を見た。 制の復活を見た。 制の復活を見た。 が中間校を見たもの七 一校。中等単校二二五 立を除く)圖書製品の一〇。 がは事製和の一〇。 がは事製和の一〇。 がは事製和の一〇。

省でから ご大部分土能を改編せるもの の吉鴻昌。李松嶽州&除は殆

四課。惠兵除司令 **高股日禰帯郷鞴保者によつて** 瀬洲に於ける斯関経誌懐随の 代によつて目下版

日滿新聞雜誌檢閱 方案漸次進む

委員長後任决定は當分保留

の女化的

大閣鎮に在つた湯玉崎は彌

部 観より帰顧を許され、その名

48で國家的統制の下に民衆 各地の地方檢閱所及無限立さる 各地の地方檢閱所及新聞雜誌 は勿論演劇、映画の檢閱を行 とで國家的中央檢閱所及主要

馮玉祥挾撃されて 湯軍滿洲國軍に合流 旦夕に迫る

中尾國次郎氏 爾東廳監理課長

歐米出張

より歸任

神列車で北行赴任の豫定であ
 は失人同伴二日朝入港のアメ
 は失人同伴二日朝入港のアメ
 は失人同伴二日朝入港のアメ

軍に脅威され没務且かに迫つ すべく頭洲過軍で協力石廠を 三浦書記官 し爾後陸海軍の設督に際して 確関するに英観側は支那に對

大妻人為 (アポッタパッドー日 間) 歯民運動の糖師ガンデー 氏は印度機督の態度に抗難の 低一日早朝を別し非軍郡不服 経運動を大々的に再開せんさ

(大連一日登號連)排日旅り置了プトンタローズ氏一行は「大連一日登號連)排日旅り置了プトンタローズ氏一行は 奉天から日本へ歸る 苦しい釋明 日補誹謗でなく

九時半段列車で奉天統由新義・ウローズを除く七名は一日をクローズを除く七名は一日を であつたこころ一日午後に至 朝鮮経由内地行を許可の方針 から防み入れしめざる條件で て大連署に耐い「アプト・ンクリ新京大使館より観東線を経

は簡單な爆撃物を製造し得より之を軟授し、上級の供

クロー

ズ氏

れの

の目的の言

樂品材料專

唇にはオワチソフ、チイ

ロフ等の著書が採

沿線通過も

祭止され

アプトン飛行機

で新義州へ

カつた低日禰用営局の憤慨をして具言動に日禰誹謗の點がして具言動に日禰誹謗の點がしてより歸來 販売の賃來議したアプトン。 「大連一日就調通」アメリカ の大學教授十名を率いて東洋 の大学教授十名を率いて東洋 質ひ今回の旅行では河氏の

合ひ朝鮮्西山横濱より開米す 明六時周水子養旅客機で新養 州に向つた同地で一行さ落も

な決定を有してゐる旨

巳むを得ません。立場を換の憤を質つたさならば乙叉 私共は今日午後の汽車で奉い立場に立つを思はれます

を聞き資産丸テロンで同氏は

に基含酸表したことが日頭 造ぎません。見事調査材料 過ぎません。見事調査材料 今度の東洋訪問旅行で日禰 から思ひもよらぬ批評

**東南日な単校の教授連です** 中度の旅行のメンバーは皆

盛大な地鎖祭があつた

八月中旬より

▲千葉暨科大學生二十四名は 二日午後十時廿分來尽 《與軍縣中外商業生十五名詞 《與那產業態投學徒研究重第 四班百三十一名は二日午前 大時四十分來京

成館へ 一日午後十時廿分来京梅屋

年度の新規要求は十二億國を 学優する有機だが結局五億國を 学優する有機だが結局五億國を がため査定後に來るべき各省 がため査定後に來るべき各省 は恐らく未會有の確事を惹起 するだらうが事務雷局は他く まで財政上の見地から厳重査 定主義で終始する力針である。これ がは※年度の一般會計標準準 がは※年度の一般會計標準準 **黒龍江沿岸一帶** 極めて平穏

は個めて平穏であるさ は個ので平穏であるさ 日黒龍江撫送に到着した研州 「ハルビン | 日義関節] 三十

經濟欄

反滿軍に拿捕

20

「東京一日發調源」東京。神奈川。千葉、埼玉。 茨城の開東防奈演習に入り、正午畝剛母艦接近すさの報道により開東防空後部線出動し千葉縣谷津海空各部線出動し千葉縣谷津海空各部線出動し千葉縣谷津海

遺骨五十五体

大阪三

事往來

先一<u>二</u>二十九雷 月月月月月 限限限限限限限 

展 表 0 展 表 0

**先當** 限限

先中當

限限 ★大阪期米

各地市場

兵除司令部附 版本

到着せるもの左の却し、別電東軍闘係者の昇級移動中職報令回の陸軍定期移動による議

計島 古之 之が實現を急いだ結果各省さ 島は治安恢復さ共に各學校並 島は治安恢復さ共に各學校並

航空機並に軍需工場見學

學良再び渡革

に再びロンドンに来り三十一 を終つた張孝良は其息子で共 を終つた張孝良は其息子で共

一説文立一 きれた合民

の役任決定は富全保留される たってもる

事件を解决の方針であるさは一切支那の語を假想上に使

大連川役九月より十二月にかけ約三ヶ月に見かれた画観戦信動を代表して出版 健康機動信動を代表して出版 健康機動信動を代表して出版 健康機動信動を代表して出版 を開発中であつた通信励監理課 長中尾崎次郎氏は約一年半振 りで二日入港のアメリカ丸で

●师洛的某事校生三十五名は

新 新新新株 大阪株式 10210

おの理丁を安心して買る店

漠河に向ふ

英国を投じ五階壁のピルデンの派信各機器を統一する當仕

林海軍司令官

るこさになり卅日

▲慶應義塾生十二名は二日午 ・ 大阪住育中學校生二十四名 ・ 大阪住育中學校生二十四名 ・ は二日三時廿五分來京 ・ は二日三時廿五分來京 ・ は二日二十四名 ・ は二日二十四名 ・ は二日二十四名 ・ は二日二十四名 ・ は二日二十四名 ・ は二日二十四名 ・ は二日二十四名

四午前八時四十分最ハル四大事辯倫部生十三名は日午後四時最大連へ高い

表される選びになってるる 新警務局長の着任後直ちに登

柄注目されてゐる

時節

三裸樹で

本警備隊は同氏教出に當つて 本警備隊は同氏教出に當つて 本警備隊は同氏教出に當つて

萬歳軍の豪華陣

三時十二で全新京は情敗した 五時十分閉胃したが、結・十間田南敷士の試合を最後に同

東京使六、〇〇 ニュース 東京使六、〇〇 ニュース 東京使六、二〇 語学器座 (高別語)戦節 高宮 修逸 (高別語)戦節 高宮 修逸 (高別語)戦節

の村民に沿線十支里以内

人大阪生れ松岡政和三回

さす

匪首大平が

愈よ今夜から長春座で

讀者優待慰安の夕

歌京時局後残會では病中の第

時局後援倉が

日朝後七、〇〇月 美籍七、〇〇月 美籍七十、一〇

中語

ニュース

座開演

克家屯附近で放火

鐵道を保護

年後七時頃へルピン東北カニ 邦人拉致さる

回

目の

破獄

(季天一日種物理) 胆鼓跳梁 (季天一日種物理) 胆鼓跳梁 を招致。 南埔峨道保護の目的を招致。 南埔峨道保護の目的を招致。 南埔峨道保護の目的を招致。 南埔城道保護の目的

三月八年八和昭

警務所に收監中の前科五犯松二日午前七時頃新京總領事館

今度は獄舎内便所の掃除中鐵棚のないのを幸ひ赤の獄衣一度脱獄したが直ちに逮捕され再び服役中の窃盗犯人が

を着したま、逃走した事件があつた

岡政和(三回)は朝便所の掃除中

新式安全手錠をはめをごひ全市に非常調を張り犯衣(赤)を着し且つ最 直に機関事館署祭署に急報局を奇貨をし便所内の窓 を十分後になって看

主任。總備事館署保安主任が「新川県民政院、首都警察總保安和派所京署保安 に関東總保安和派所京署保安

さ戦道保護の責任を負はし

チ、下家屯、金家屯、柳家屯かけ金品を掠奪し續いて東崗 ごろ二道溝を襲ひ部落に火を

日朝から一家植出で行くには かばへまいからしつき欲しい が はへまいかさいふやうな電話が順々さかくつて来るに見て、いかに人気が沸きたつて

第1000年に本紙に挟み込みましたから精々神利用を乞みましたから精々神利用を乞みましたから精々神利用を乞みましたから精々神利用を乞みましたから精々神利用を乞

| (株元、三) | エュース | 大元二年七月二十五日 | 株元、三) | エュース | 大元二年七月二十五日 | 株元、三) | 大元二年七月二十五日 | 株元、三) | 大元二年七月二十五日 | 株元、三) | 大元二年七月二十五日 | 株元、三) | 大元二年七月二十五日 | 大元三年七月二十五日 | 大元三年七月二十五日 | 大元三年七月二十五日 | 大元三年七月二十五日 | 大元三年 | 大元二年七月二十五日 | 大元三年 | 大元三年 | 大元三年 | 大元三年 | 大元三年 | 大元二年七月 | 一十五日 | 大元三年 | 大元三年 | 大元二年七月 | 一十五日 | 大元三年 | 大元二年七月 | 一十五日 | 大元三年 | 大元三年 | 大元二年七月 | 一十五日 | 大元三年 | 大元三十 | 大元三年 | 大元三年 | 大元三十 | 大元三十 | 大元三日 | 大元三日 | 大元三十 | 大元三日 | 大元二日 | 大元三日 | 大元三日 | 大元二日 | 大元日 | 大元日 | 大

中銀週報 自大員二年七月二十

門の各村落を鎌道保護の區域

白家店を襲撃し一日午倉十時を約四日の匪賊は三十一日克を約四日の匪賊は三十一日克の地球は三十一日克の地球は三十一日克の地球は三十一日克の地球がある。

本の記念子、各部落に放火した との部落民は家具をまざめ標 はしつとある念報により目下 様しつとある念報により目下 様につきが出動した、な吉ほ 下家屯二道溝にある警備列車

事陣それに配するに共間流の 事陣それに配するに共間流の 事能界の機師砂川捨丸が率ゆ

さあつたがそれんくはけしいらかり用意して来て下さいしつかり用意して来て下さい

して謹んで見舞申上ぐ。右に塩へず。頼京市氏を代表に塩へず。頼京市氏を代表

東京後八、〇〇 演藝 東京後八、〇〇 演藝 様八、〇〇 演藝 神和、放送島編輯

争能宛左の見舞順を送つた

元木會長の名を以て詞節調司

線漆物、放送節編輯及プレゼ・三〇 ニュース

特殊酸行を翻説したさころニ

一周五十銭を一圓に割引の侵

一日の

集合し協議會をなした

警察官の人選は

筝銃 短刀强盗

現る

ケ所

東一條と露月町共同沿場前で

前後の男が相田氏の襟自を揺後から支那服を着した三十歳

つも止め得ねさ同じに、理窟が多い、西や煙草は海さ知り

一答へ 次いで検事

程お祈り申 に移店数

上ます。近側登顧の程準希ます炎暑の砌り切に舞台乗の近側登顧の程準希ます炎暑の砌り切に舞台乗の数しまし一層台乗の御明待にお沿い可申お勉め致しまを繰り有権単く御職・中上ます業務譲退の名め左

廣

昭和八年七月三十一日

是商 鵜殿 兄弟 商全室町二丁目九番地 ( \$15 全面校园)

殿 長 壽 惠

6ひ身体に築は無いさいふが

通りに行きませんさ

岩下大佐に

記念品を贈る

全市民を代表して

れも逃走

塀を壊し苦力が雑沓してるら 領事館宿舍工事中で周圍の高

たま、逃走してゐる人換意に努めてる

人衣は

正午ごろ發見さる

今夕迄に

を快く受納するここに決定し 者代表基標に對し此のほご出 書産石材の寄贈方が申出でが 事のたので新京時局後接管で

當るため個東聯警察官千二百及び錦州威警察行政の指導に及び錦州威警察行政の指導に

三十七番地涌域列車食堂ボールを騒撃犯人が二ヶ所を襲ひむた場響した……一日午後の中に象鉄。短刀を所持

を撮撃逃走した、居出に接し金駒覆二個、男物金指輪一個

一位の字二 を強察逃走したこの届出があり、新京署司法保の捜査隊は現場に急行取開べた講路月町二丁目四十取開べた講路月町二丁目四十取開べた講路月町二丁目四十取開べた講路月町二丁目四十

たらないが被害者利田氏は直犯人はいづれる逮捕するにい

すさ一圏を事にし西方に向け代さんは懐中か6一圓を投出

一一名は支那服短衣一名は猟戦

に辻慢姿が現れ

カル谷びせた、その間機原玉 一短刀一を出せさ青

家人を脅迫し金票四十五風。 正服を若した) 騒盗が押人り

おする派遣人員の割當その他 な世界に派遣警察官の選抜割 などのではのでは名を表著に などのでは、 などのでは、

学統 三人組(の

は極々技町三丁目草むら中にが犯人の着してゐた赤の獄衣が犯人の着してゐた赤の獄衣が犯人の着してゐた赤の獄衣

犯人は既に變象し附屬地内にの搜査跡が正午ごろ離見した

臨慢をなしてっらので今夕之 変に全市の旅館下宿屋の一齊 新京所考並に曾都警察職では

には逮捕されるものでみられ

大使館炊事夫

肉切庖丁を

一五事件海軍側

第六日目公判

河上第

回公判

高野範士等

八月三日

土用ニの丑

三電

●遠近に拘らず出前致し

執政御前試合

博士

は犯罪事實を全部承認

乾寫眞館の寫眞機泥棒

取調べの結果過去一ヶ月に且人少年を領事館署員が逮捕、

・ 大楽 芸譜(二二)は一日午後 大楽 芸譜(二二)は一日午後 大楽 芸譜(二二)は一日午後 大楽 芸譜(二二)は一日午後

零時卅分日比谷公園で

執行され

実放送過ではこれを中曜全領域で執行されるが此の日 ○ 人式では午餐十一時より午後の世界本で(清洲時間)都後の中後を買すこさらなり季

の進展さ共に一般民間の待室 の進展さ共に一般民間の待室 機に第一回土地の排下けを行 が下けを希望する向砂からざ あを以て今回更に第二回小賣 あ店街三三筆の排下けを行よ こささなつた今週時上地の 大阪野当に近く大貴人傷さ異 大阪野当に近く大貴人傷さ異

二等。一四〇坪程度

一、入札及開札

地の指示器、入札心科、契入札参加に必要なる排下理

二十名は四日午前大時四十分 ※京するが同日午前大時四十分 ※京するが同日午後四時より 西会間球場に於いて開洲網軍

拂下方法

日は誤り

少年滿人泥棒

故武藤元帥の遺骸

されなかつた

號四百八千三第

悲しく門司入港

(下限一日酸納地) 放武線元 (下限一日酸納地) 放武線元 司人港、回夜は野京より昼從

関党をなした、闘村参謀副長 で来騰せる松浦人事局長等お

に放送する 流

方法其他は次の通りである は特別な繁盛すを強想する は有緊地區の一であるが排下 を有緊地區の一であるが排下 を利認地區の一であるが排下

〇坪程度 一条、四四五坪 程度 一条、總前積一大一 二五、三九平方米

土地購資希望者は常該購買 土地開資希望者は常該 とので代理者 して入札するもので代理者 して入札するもので代理者 の場合は収益に対を要す若し 特託した保證金の排戻を受けた上次の希望土地に對し けた上次の希望土地に對し

早大野球チーム

四日來京

1:5分して質へば詳しく何の點は電話八二四、四〇一四日カイメート

一回小賣商店街

地の排下げ

來る二十一、二兩日に亘つて

一、入札方法

、入開札場所

國都建設局で入開札

るを順京署員が養見し検束した 銃砲火藥収 じたき藤井学佐き結の再連を置らねばな

三上被告訊問さる

を共にする氣はなかつたミ述 に入り十時半再別し陸軍や民 間の同志さの関係に就き終始行動 で大川

ペ十一時世五分休憩に入る

時四十分から東京地方裁判所 第一回公判は七月一日午前九(東京)日登録第)河上博士 され傍聴階

検事七年の懲役求刑

られ、博士は白絣に紹の羽織 を着て手錠も固くかけられ、 やつれた顔で出廷し、説画に を着て手錠も固くかけられ。 たこさ並びに共産黨に入職し、民五千圓を黨の資金に提供し

| 一九號土地より||三號土地|| 一九號土地より||三號土地 管行しないのは矛盾でないか 管いた通り」を答べ、被告は でルクス主義は電影しながら き追及されたが人生には矛盾

ナるこさになつて居る 上大講堂で一般の随気に供 上大講堂で一般の随気に供 去したが執政初め日本武士道 範試合を行ひ同十一陸一固辭 の精和に感嘆してるた 高野哺和士の帝國倒進の型を前十時から執政府に参集まづ

こさになつて居る、其他入札にする外假建築で差へ支ない 由なるが。排下りに就て不明に要する用紙等は建設局に於 馬野昭士の窓ゆる選系の特別 は編別護部計金額京の倒消試合 は編別護制造部計で、徳智観京 でに一日午後三時年より西談 では編別を制造部式、徳智観京 全新京軍 一點の差で惜敗 對埼玉劍道戰

待遇其他面談ノ上即决ス (至午後五時)

正縣劍道部は特に執政の御典工縣劍道部は特に執政の御典 日本劍道の型も示す

は何れる熱戦に終始し、奥田、等参觀者堂を埋めた中で試介

烹 藪

虎

三、優秀ト認ムル紳士地方監督所長トシ起用ス(伹シ定員一、入州手續完了シ採用ノ士へ活躍費給ス又ハ貸與ス設人身分證明履歷書持参) マデ五名限リ)

昭和八年八月二日 本社直營 新 大正生命保險株式會社 京 電話三二六七番新京ビル三八號九號

愈よ開演致しました 東西萬歲界の豪華陣

是非一度は御來場を

いが、その後如何致したの無理

用くださいませ

樂道食

電話三九三六番

满洲醬油合資會社

電話二一七三

13

京總代理店

野遊の出機當

したものだと思ってゐるのでる

ホの落ちさうな美味

すっこれはほんの些少です

、若社の島目を紙に捻つの原子に早出は、何ら思つ

すったので、とりも随さず、お君はでなくずの夜だ程が即形態になってるた與四郎がが形態になってもはかりののはいなが配る。それはかりのないを対してある。

のり のり のので のなったらしい のなったらしい

和合を主さずれば古さ成る

金銭は遊くべし

硬質

ナルヲ以テ建築物

が入人保存ニ

心身爽快

日

類各種

その無難に、ではかり用があ「滅でござんす。先夜は組御をとう言つて、その男は手を補ひに来やしたんでござんす」なう言つて、その男は手を補ひに来やしたんでござんす」ない。

としかるので、無理に興四郎の所へおどう見お我が興四郎に逢ひたがつてる

● 一本院 第四二丁目 本院 第四二丁目 本院 第四二丁目 本院 第一本院 第一本 张 题)

日

京

新

堤の脳から筒ひ上語から出た。

ころりと時んで與四郎が、為

「お」解門さま、姐師を色々有

(田二十二) 上灣上灣 會 作 村瀧

情の町の中に、受開な影を映らし、と現はれた。 はかい はいで、その一行の姿が、木味にひそんでゐた人影が、ばいないといこから、暖かい陽光 その男の合屬に依つて、他の際々しい窓から、暖かい陽光 その男の合屬に依つて、他の て袋がの程を解いた。

1リストピューリストピューリ

沼田勇法律事

護

士

田

雄勇

二四七番

失敗の後を受け 急功を欲するは

電管日 三美術

等引。用於問三/月) 竹童二割引、点相一割引。 於漢、門司、神戸間照納切 大漢、門司、神戸間照納切 大漢、門司、神戸間照納切 大漢、門司、神戸間照納切 大阪商船株式會社 大連支店 電話四二三七番

新

るとが如し世話事は控へよ

XIIII等船客的

八八月 三日 以 八月 三日 以 八月 三日 八月十二日

勞を厭は中英事

目科業營

量督圖預第

洲 或

大阪商船出帆

店 電話四七九〇番 司

政府指定請負人 初京室町二丁目九番 これが日 に

S. Marie 何を あけぼの」色! た歯は如何につ スモカでみがい 白百合の 難店ニアリ



製造販賣改良煉瓦

營業所

I

ラ節約シ

得

製ナル

一付破損品尠に



の 指定品 全國の酒 蟲 一學に強減 松商店新京支店

代理店 無人害畜 カモ井のパイトリ紙姉妹品 新原日本福通 福 田。 KOLLE 高級美術タイ

五秒デ出來ル アイスクリーム製造機 ビール。サイダー。 専加何ナン飲料料ホニテモ 五秒デ陳 新京發賣所 金 泰 行 北滿總代理店 泰和洋行 新京祝町二

グット吞む

目種業營

ヤ川日膠セ東 內外洋服地並附屬品 コエ式剤防 D 「類類」」

紛糾を豫想される

「大連当日最調通」特務部開語 音出票彦大将は「はいかる丸」で東上したが左の如く語る 軽電筋工業の機関が完成し自分のま元から離れること

殖民地人事

| 特別長林等男氏を南洋副長宮は南洋長宮公田正乙氏を朝鮮は南洋長宮公田正乙氏を朝鮮

相に機器では、 を求める方針である。 の如く商融信が監視に反對し は山文相も南端相を支持し、 があるので四日閣職まで があるがいる方針である。 の過

船の

大連向け商

| 「一人」 | 「一人」

期の新業者は販路が開州を支 ・ の成下は関に日本品ので ・ の成下は関に日本品ので ・ の成下は関に日本品ので ・ の成下は関に日本品の更生で ・ の成下は関に日本品の更生で ・ のが、数に今次輸入税率 ・ のが、数に今次輸入税率 ・ で、またで、大連に一科合 ・ で、これに次等条 ・ にのかで、またで、またで、またのは ・ に、またで、これに次等条 ・ に、、 は日で、 この中では、 この中で日本人統督のものは ・ に、 この中で日本人統督のものは ・ に、 この中でのが、 この中で日本人統督のものは ・ に、 この中で日本人統督のものは ・ に、 この中で日本人統督のものは ・ に、 この中でのが、 この中で日本人統督のものは ・ に、 これに次等条

一加味 したローカー かのものが といから大なる影響は受けまい こ見る両 きもある。何れに せよ他の品々同様日本品に同 でまれ、本来の領洲色豊カな といってあてられるだらう。 を入風税四割より一割五分への低下は先づ一般より是誤、

「東京二日融盟通」政友會内 必要なりこし、真多季治。一 には行話つた義情打開に鈴木 網二二、大野伴膝、土食家明 には行話つた義情打開に鈴木 網二二、大野伴膝、土食家明 の からも不平の壁が高いので葉 た上姉木穂歌に進言するこさ の からも不平の壁が高いので葉 た上姉木穂歌に進言するこさ で の からも不平の壁が高いので葉 に 大変もした

三十才前後迄ノ方三名

黨の結束を計り

骨金属等の気を動物の

と個の陶磁器が輸入されてる の輸入は一年額後に百萬風足 の輸入は一年額後に百萬風足 の輸入は一年額後に百萬風足 の輸入は一年額後に百萬風足

し、開院官殿下の送別の御言葉あり八坪半畝會した軒で一日午後六時内田、永井、大角の各大臣も出宿別會は開院参謀總長宮殿下の御臨席を仰撃上野精養(東京二日登紀通)陸軍三長官主催の菱刈大将の送

を以て此際相響の基金を にこを企圖すらものである旨 を以て此際相響の基金を を以て此際相響の基金を を以て此際相響の基金を を以て此際相響の基金を を以て此際相響の基金を を以て此際相響の基金を をはなる。

を設に且り協力するものでも を立しば場一致管成の 一部を一一高原園を以 一部のである。

打合せに

吉田大將東上

輕金屬工業

改正關稅は

果して満足なりや

く事は疑を容れず、各方面よ 有利に導き、進出の余郷を拓 門園程度のものである而して ののである所して

かりである。この四軒で作られているのに長の様かものば、大地は

仕崩済窯業自社は非常な打撃 しるち、この結果大連を除く しるち、この結果大連を除く

と思良の緊迫も除去した今 に工場を作るでしやうが改 に工場を作るでしやうが改 で居た理です、税率も大体 でいあるのを見越して待つ で居た理です、税率も大体 では関して待つべきもの

らうしかし一雨添洲製は頭

當業者の意見を聴く

年度中に役立に決定した

胃

和和官邸で 民間 羊毛

れ者の必集を求めて

菱刈大將の

寄附金集めに御注意

送別曾行はる

實上の湍洲國章製に一指を染めたものと解し多大の注目を拂つて居る地湾の態度8回に拘らが霧離は世界の離島を打開し得るのみならず日晩親善の基礎をすしてなり」とか説と聞います。ここに端を發し在端外の領事並に各時業機関に一大センセーションは備フラン投資の用意ある旨を仄めかせんここに端を發し在端外の領事並に各時業機関に一大センセーションの態度80回に拘らが端票額費は世界の離島を打開し得るのみならず日晩親善の基礎をなすしのなり」とか説し盟の態度80回に自命共帰間職投資調查會が結成され。席上佛説前外界展臨會代表トリピエ氏が「佛景民間は郷土の社会を出力日東京で日佛共同野職投資調查會が結成され。席上佛説前外界展臨會代表トリピエ氏が「佛景民間は郷土の社会と出力日東京で日佛共同野職投資調查會が結成され。席上佛説前外界展臨會代表トリピエ氏が「佛景民間は郷土の社会と出力日東京で日佛共同野職投資調查會が結成され。席上佛説前の手展臨會代表トリピエ氏が「佛景民間は郷土の世界の高麗の世界の世界の一般共同野職投資調查會が結成され。第上佛説前の手展臨會代表トリピエ氏が「佛景民間は郷土の世界の一般共同野職投資調查會が結成され。第上佛説前の11年を持つて居る

佛、滿蒙開發協助に

様昨日の氣温、最高比五度大けよの天氣廟の風景の驟雨模 天氣と氣溫

毛絲。毛織物。人絹絲布メロ境物力変し含に不拘雑貨率の個なる品目はたのに関連したのに関 スル都、ストープ党物なみだイント洗濯石鹸、工業は耐ゴム靴取球、農具自動車でス勝千魚。馬鈴薯玉蔥糖

財經の權威を網羅

**迪商政策審** 

通商審議會近く第

一囘曾合

さして馬場鉄)、柳巻保恵、大田正孝、小川郷太郎、河津、上田貞次郎の諸氏が有力

通兩條約改正で

期待され

る諸點

の審議根本方針

内定してる

事實上滿洲國を承認せりとし

つれも大衝動

國擧つて注目す

一、 健産運費表になき質め負担に對し運賃定率を引下ぐる根本を理油類なら二十余品を収入し、関係のでは、

北

根河の三河川がこれを貫流して、哈鳥爾河、母爾布爾河、 一方(トリョフ、レーチェ)と、唇るので、これがらに三河

呼ばるとに至つたものである 普通に三河地方で呼ばれて

に原切られ北れ音拉林河の流 ・ で蘇聯を接し南はメルグル河 ・ で蘇聯を接し南はメルグル河 ・ で越聯を接し南はメルグル河 ・ で越聯を接し南はメルグル河 ・ で越聯を接し南はメルグル河 ・ で越聯を接し南はメルグル河 (か)河川

哈島爾河ー綽博克托山より 根河ー大興安嶺山麓より競弾口幅約五〇米では約五〇米では、大明の一大〇年では、大田の一大〇年では、大田の一大〇年では、大田の一大〇年では、大田の一大田の一大田の一大田の一大田の一大田の一大田の一大田の一大田の 被心全經長約一〇〇粁河 福約三〇米

(事)受明

三河地方の現状

の要 (-)

居ものは前配三河川及一部メルグン河流域に放在する器人及極少数の他種族部落を指して的確に其面積を単ぐる事はて的確に其面積を単ぐる事はであるが其機固積微算一〇、〇〇〇平方森単である。

し全班長的11100軒除。

動車の通行に支限が無い

機略左の仙き数字を示して居

魚類…………」200貨車

年前三時出動し堤防附近の b 安東消防線の警戒班系三班は

署に飲き響致した、右の水勢

毛皮類……一〇、〇〇〇元

可然御取計和成後此段及御依資取引の振興を圖る議周知方

ハイトウイ村及スタールイ、 此等の河は失々幾多の支流 てアルグン河に合流する、何トウルハイトウイ村の間に於 幅約100米

(本)富裕

神島質河、得備布爾河、提 河の河口より上流的六〇軒は 連が極めて阻害されてるたが 連が極めて阻害されてるたが 主共に住民は耕作削積を擔張 と共に住民は耕作削積を擔張 をに從つて最富な森林地帯が るに從つて最富な森林地帯が るに從つて最富な森林地帯が るに從つて最富な森林地帯が るに從つて最富な森林地帯が るに従って最高な森林地帯が るに従って最高な森林地帯が るに従って最高な森林地帯が るに従って最高な森林地帯が

二十三ヶ村、八百三戸、人

計相成

は午後に至る。商ほ綴和の曙 光見えず健防内側の家庭は床 務所書局では瓦斯タンクの機 に常役の排水ポンプ(一時間 に常役の排水ポンプ(一時間 に常役の排水ポンプ(一時間 は常数の排水ポンプ(一時間 は事なきを得た而しし現在の 数楽堤肪は再被六一米突五十 一五年五十七・八に比すれば 未までは大丈夫さされてめる は四三米二十一日午前八時の水位 は四三米八十であつた

十二十一〇〇〇四

致候に付併せて周知方御取しては秋田縣 物 素 斡 旋所しては秋田縣 物 素 斡 旋所

八年三月家畜概數

四、五〇〇布度

カイメ、シグ等の魚類が棲息シチューカ、ナリム、レノクシチューカ、ナリム、レノク

明は掲より夏別ご雖も馬車自落を結ぶ無数の道路があり冬落を結ぶ無数の道路があり冬落を結ぶ無数の道路があり冬

を控験し輸出さら、生産物は下に向且つご河住氏の消費量

産党及農民である リヤード、編州武の他、全部 役員加領地方より移住せる符 を表

懇談會

ホテルで開く

小樽市取引

大蔵、機林、商工、選信。 大蔵、機林、商工、選信。 大蔵、機林、商工、選信。 長間剛委員十五名であるか 毎ほ貴業所院議員及民間側 から六名を選任する **あわけである** 酸法に依り徹底的に取締り得

商審議曾 委員近く任命

日印交涉 日艘 紡聯代表十

內房長、市場會計經津市記內房香配。與村經濟事情案

入組合久末趙事。奈良原

**是、富岡同保商工主任、**學 新京地方事務所伊東勸業係

南ヤードナ帝線で入替成體車時四十五分ごろ安東線貨物線

貨車に轢かる

海港檢疫法

近く公布さる

「東京二日登城徳」日英。日中協議會に就き紡績聯合會同即協議會に就き紡績聯合會同部委員長等な外務等。 点 一日候階級の秩父丸で米認経由派遣する。日印會商は英國の大変丸で米認経由派遣する。日印會商は一般 一日候階級の大変力で入れて米認経の大変の振合を見て必要なる。 ば客業者中の巨質を飛遠する。ここに決定した

てあるが、海港より侵入する 貨別境其態要地に防疫。 儉 協問制では悪疫侵入を防止す

本本、丸平、品川各 Fで、幅 田商店の各代表者も川脂して 今後の取引その他について忌 でなく意見の交換を強けず、幅

東

く抵抗力弱く結局生命党束で は足を切断せわばならぬらし

## 基金百萬圓 日滿緬羊協會

拓相の提唱で九年度中に設立

保協會さして日磯緑羊協會を 「正し」「一本協會の姉 日本協會の姉 日本協會の姉 日本協會の姉 日本協會のが 日本協會のが 日本協會のが 日本協會の校立は國家の 例必要事業なるを認め、由つ るが永井指相さしても頻繁領 のも給自足を関するは でお相導並に助成機関さして 過を主張せんさ決定して居り のも終して 過を主張せんさ決定して民り

陸軍省後接に まごはされぬやう

如く建賃を改正八月一日より 要施したり 一、提來の運賃は從價取にて 最高八圓八十銭最低三圓六 十銭にて之を八等級に分類 して居たが新鴻賃は最低三 同窓に引下け之を十一等級 に分つ 、從來の運賃表品目は四十 余種類であつたが荷丰取引 の困惑を券貸し転運賃にた ては三百六十余種さなし

の 第1のため外所大臣の諮問機 に近く委員任命第一回審議會 と開催すべく連綸中だが、第 部で審議の結果 総領は外務、大蔵、農林、 海條約改正に関する件帝派及諸外閣問現行語商

は開商官

省後援名儀の附與は嚴重なる各署に応て通知があつた。 ないである者があるが、陸軍 胃中せしめざる機収積るべく を寄を無すさ期し寄除金を募 するものであるから同名儀を するものであるから同名儀を が は 陸軍者から正式 環際を変付 を変付 「東京二日最適通」外務省で は現存重価係約改正を明務者 を正に他り明神すら遺は世界 の融資権保に在り、従外偏軍 の融資権保に在り、従外偏軍

英國空軍遂に

上部印度の一村落を爆撃す

更に第二回爆撃準備

今般左記へ移轉仕候間此段乍畧儀以紙上

廣

御通知申上候

東三條通三八線金館編譯 尺八 簡 湖 成 醫 院 東 一尺八 簡 湖 四 田 古

東

和力東門前

じ個別的相互主義條項を加ない故、各減間に必要に應疑時顧認的な現情に適應し

乳香の首魁二名を醸匿せるパージュラー日登場通り反英极 日未明途に同地カコトカイール族に對し英観左軍機は

高税を課せられるのでした 世際音々は今まで競分替し 世界の様に従債の四割もの 様本の様に従債の四割もの

は単常は自名内外の村民を有 する部落であるが。空事機は 一日夕刻更に第二回の爆撃を 行よ何で、爆撃の噴揚影した 機を臨めた後次の爆撃目的地 を決定する事になつてゐる。 に、境を越えてアフガニスタンに逃げた模様で、若し今回 いは英麗側は第二の手段さして は英麗側は第二の手段さして に決定してゐる

田縣船川港と 北鮮航路開入

古世級の胡鴻さ北日本へ航路 財政は日前貿易の艦級を見つ 財政は日前貿易の艦級を見つ 東北五縣の對滿貿易有望

武物度 募店 集員 募 店 約 特 方 地

良優証保質品 粉味調級 髙

日三月八年八和

局粱繁茂期を控に

新京署特別警戒

三期に分ち水も洩さぬ方針

無に死に面して些かも肌れや を表されてば頻東軍務兵は を表されてば頻東軍務兵は を表されてば頻東軍務兵は

博士治維違反事件

るかの如く照り輝いてゐる。 と時れ雲間より漏るも日光は と時れ雲間より漏るも日光は というである。

場の挨拶を述べ引頼れて警備の最高永博士一行に對して一定割井上神職の祝詞に次いて

りつつ戦闘に式を終了した、

静を行ひ一行の健康長久を祈

についての例

列車に激

突即死

第三小學校

近く建築に着手

「東京二日最越過」河上博士の治安維持法違戊事件の第一回金判は検專求刑役午後再び開廷鈴木。上村兩辯護人は博士の人物を說いて何れも熱情でのもので如身執行猶豫論を

資本論の翻譯のこさで何か

米國から三少年が

満洲見物に

かあい。日本への童心使節

明晩鳩で新京着

小顆校高等科生徒十二名は山【天津二日醍峴通】天津日本

滿洲見學に出發

夫中に突立ち任務途行中十四 の四兆銀路廢路巡警一名は人 がて作業中の靖線通信班護衛 がて作業中の靖線通信班護衛

替ひ彦いさのここだがさ促せば博士は私の賞薬の足りないここから誤解されて何かないともが私は自出の身になった時の生活の質に此の本を育くさ推測されて居るやりですが私は自出の身になった時の生活の質に此の本

(四平街號) 一日午後四時頃

第三小事校の新築は近く本社 第三小事校の新築は近く本社 より部可の管で直ちに着工の 強定だが、敷咄は既報の通り 建世第一計造區間(大同版場

最高が経費の關係上来だ一般 語るが経費の關係上来だ一般 語るが経費の關係上来だ一般 語の情報を極め又は良好 ではて無線電話への利用に至らず ではて無線電話の能力を軽揮 さして無線電話の能力を軽揮 すべく明年度に無電用アッテ すべく明年度に無電用アッテ

開滑に 主要都市での連絡電話を更にがこれが完成後は京城及内地

穏せんさする計畫である

通信を京城艦戦局に依つて中 電話者社さも比肩すべき日編 を記述さら比肩すべき日編

捨丸率ゆるさころの 輸制博覧會総質會演藝部主権

| 山内日子 | 東西俊秀の くて繋ださばかり定刻前からに丸率ゆるさころの がよくなかつたが却つて涼しがよくなかったが却つて涼しがよくなかったが却つて涼しがよくなかったが却つて涼しがよくなかったが即

せしめた優待券精々卸利用を 一段二月五十銭を一関に大割引 一次部の入場

一交渉」を言の入場

希望する

る。尚目下室町小學校は明年 度全部增改梁を擁し六學年ま で收容范深屯小學校は明年 像線、播子響の在来の西陣 機及び其の加工品、並びに 各種糸類、粗紐、フレンデ 同母、レース、靴下、毛布 打刄類、金屬食器、伸網類 等で當日は日禰富業者の來市 清水焼い罐詰類、清酒

近く着工の運び 口訓導引率の下に來る八月七

日滿合辦特殊傳染病棟

選更に一泊八日奉天に向よ独定 は更に一泊八日奉天に向よ独定 は更に一泊八日奉天に向よ独定 を表するを訪問四日朝静哈爾 で記日中前八時替列車で を天から來考認都ネテルに投 を表するを訪問四日朝静哈爾 は一般のは教化方面を説録新京時

日當地出員禰洲各地見學の旅

近く智工の選びさなつた
日頭合辨特殊傳染病徳は愈々
西端(飛行場の先)に三さ坪
西端(飛行場の先)に三さ坪

たが。更に本年度は來る八月一たが。更に本年度は來る八月一次都以上の好成績を收めして發那以上の好成績を收め 行に赴くこさもなつた 京都市主催 巡回商品展示會 視察團來京

第一回

大津日本

小學生徒

岡山縣會

昭和八年八月二日

時堂に於て第二回商品見本展示者を開催して京都市内に於る生産品の販路の擴張さ、取引の者進を開催して京都市内に於る生産品の販路の擴張さ、取引の者進を組る事になり、京都市書配川勝學而氏外参加者十二名來京準備を進めつつあるが参加商店四十三店、商品見本監数は約一千點、参加人十二名であつて見本品の主なるものは 五時迄室町二丁目版京公學校四、五開日午前九時から午後

年において行はれるここに決 は合をいづれも西公園グウン は合をいづれも西公園グウン 東西萬歲競演會は 愈よ今夜限り 讀者優待券を御利用あれ

れるが、第一日(四日)午後三 新京總領事館等祭署巡査売棚 院に入院加寮中の歳襲石効な く一日午後九時二十分逝去し た 荒瀬巡査死去

るものを切りねく難、ハーモ流の舞踊家、映一つであるゆ 開演する美しいさころの種間 多く大盛次を呈した、二日目

練されたものばかり一夕の観賞哉。音曲萬歳等々何れも治 質の値打は充分に整つてゐる 本紙受読者慰安の一幅さして ニカの曲奏、浪曲風食、剣刺

三、優秀ト認ムル紳士地方監督所長トシ起用ス(伹シ定員一、入州手續完了シ採用ノ士へ活躍費給ス又ハ貸與ス党人身分證明履歷書持参) マデ五名限リ)

待遇其他面談ノ上即决ス (首午前八時) 大正生命保險株式會社

本社直營 新 電話三二六七番 新京ビル三八號九號

滿洲國軍政部測量課發行

にる給水量

新たに九千人分の勘定

本月下旬に出揃ふ

~~~~ 弄二十五 萬萬萬 分分分分 二十十十十十五五五

新京吉野町一丁目廿四

・ さてなる、現在の機 全観使用量平均〇、一トンさ 

**蹒洲國地圖** 元賣捌店 森

電話二二五一番

謹

底廉な月見洋行あるを御念頭に置かれ多少に拘らず御引立りますから展け行く新京中央通の長春神社前側に品質本意に努むる方針に致して居ます炊事用品は豊富に取揃へてあ處食料品のみは單に鑵詰、瓶詰、調味料等を揃へ逐次改善具一式を營業することに致しました店舗狭隘のため只今の具一式を營業することに致しました店舗狭隘のため只今の具一式を營業することに致しました店舗狭隘のため只今の

中央通三六 元 改 月見洋行新京支店 萬關東軍司令部酒保

H

愈々今夜がお名残りです是非一度はお越し下さいお待ち申 ー御禮申上げます

長春座 にて

さか。云ふここは贅母では 一つにあります。我調の現 一つにあります。我調の現 暑いも各人の心の特方一ツで が、寒いさか云つて、おられ が、寒いさか云つて、おられ が、寒いさか云つて、おられ 汲みて遊ばん夏なかっけり」 さ寒に勿騒ないここであります金枝玉葉の御身におわしますにも抱らず、御在世中吸傷 でのであるに 明治大帝は でのであるに 明治大帝は

走經路から推して南嶺方面に潜伏してで極力捜査を續けてゐるが午後四時迄に連捕するにいたらないが、犯人の逃につき新京總領事館警察署並に新京署

…何か適切な銷夏法は? 各方面に聴く

(8

5三名乃至大名を一班8し班

の各保安職係の料金を調査してゐるが別内を除いた各地に比すれば總でが高率で地に比すれば總でが高率で地に比すれば總でが高率でも増てゐるさいつても登しつかへかない、新京の物質が高價であるさ云つてゐる

夏

題

思へは一方には避暑だ、休暇

下台王二號。八月三日頃一

| 百トンが増すわけで一人質り | 「其職が暑くなるのである、暑

働くこさが、唯一の館夏法であるご感謝數喜の心持を以て

大月末の時層地人口は四萬四 千五百餘名である、これが近く機給水量五千二順ばかりに なるのだから旅行客その他を 加へても大丈夫給水出來るは 地の選水管も水る十日頃には 地の選水管も水る十日頃には 地の選水管も水る十日頃には はるここになつたので雪橋現 はるここになつたので雪橋現

あるさ信じます

勝務院法制局長

監教ケ所二十一組三名以上を 外間福安地

右につき井上保安主任

森山た徳永博士一庁十六名は では、中国大任務を帯びて來

が法は警哨、遊動・接壤地検索 六日至同月仕日である。静戒一日至九月五日、第三期自同

學術調查團

親祭しこのほご群協観光の途れの日本に来明して各方面を れの日本に来明して各方面を もの日本に来明して各方面を は、ままに値

話は愈々さる十五日から一般 は非常な効果を納めつし今一を割する東京京城間連絡電 織けられて密た内鮮無線電話を裁議信事業界に一大エギッ 府逓信局さの間に慎重試験を

| 歩し近く三井戸の完成を見る|
| 成権、断京の水飢饉を数ム第

一日頃完成、湧水量三百ト、遠家溝子二號、八月二十

一給水一量時十二

| 日円公口 | 本業さ相俟 山受信房。永登浦送信房がこ | 中円公口 | 本業さ相俟 山受信房。永登浦送信房がこ

段の股偏完成に努力して関る

地方 「保の調査に

キスト君(領十五年年)ミルトキスト君(領十五年年)ミルト

一當選一プラドラ

更に明年度は

內鮮無線電話設備

當局の試験は頗る良好に進捗

日至世日笠、第二期自同月世紀至世日笠、第二期自同月世紀の大神元を司より九月世日笠でこれをお明に分び第一期を自八月五三期に分び第一期を自八月五三期に分び第一期を自八月五日至世日笠、第二期自同月世

新京料理店組合から日本酒の 館上を新京署保安保に課情したに端を受し、カフエー組合 飲食店組合。 浴場組合。 浴場組合。 浴場のて飲食物、浴場組合。 宿屋 超出した。 同署はこの際却何 なる理由があらうさも現在の なる理由があらうさも現在の なる理由があらうさも現在の なる理由があらうさも現在の なる理由があらうさも現在の なる理由があらうさも現在の

業者は自重して共存共榮で を を はめてるるからこの際答

機場の如きる一軒の廻占で

に現在は非常に利益を得て

官波多敏夫氏、伊藤正瑞氏東 分種で奉天に向ふ操定である。 「安子人」 一般光島等務 面を見物し五日午後四時三十 名で同夜一泊のうへ市内各方 名で同夜一泊のうへ市内各方 コーロー吉本元輔氏の都合七 デタマバン、ラウリスト、ビ

いて童心使節――全米か平り星の認かる太陽の初への可懸

治安確保を明せんが貧軍部及 ・治安確保を明せんが貧軍部及 ・治安確保を明せんが貧軍部及

入を見るやも計り継く或は抗 の健生をも見ず小康を得て密 るが、時恰も減災繁茂期に際 を明に際 を明に際

刺戟され

各組合から値上陳情

料理店組

合に

軍警官の不断の活動に依つ 安は禰洲の建物で共に軍部 京を中心さする附近一帝の

日(内動を含む)S三分ので第一報の蒐集に當る筈である。 は「より接護地の附近」帝 明非番全員で査問は勿論を問 がより接護地の附近」帝 明非番全員で査問は勿論を問 は年後七時より午前五時迄敝 管これを行ひ更に高等観察係 は年後七時より午前五時迄敝 である。 「は年後七時より午前五時迄敝

百八千三第

脫獄犯人

さて何處へ

**今江米太郎氏** 

未だ逮捕されず

十名乃至二十名を以て一班3

犯に當る

一、漢暑地にはきこが一 お暮し遊ばされますか に非常時であります

何か適切な館夏伝は

だ、別莊口食ださ、整澤な豪 等の人の中には神聖なる勞働 に從事する人を見せつけ、而かも之 等の人の中には神聖なる勞働 に從事する人を見て卑しき人 間であるかの様に変現する者 がある、如何に金待でも自分 大間遠ひである、皆國家の仰 をであり、社會の郷際であり をであり、社會の郷際であり を非常時解留費に仰せ出され た様に文武互に其の職分に格 にいつも巣をしておる。皆國家の仰 にいつも巣をしておる。 を記るない。 にいつも巣をしておる。 にいつも巣をしておる。 にいつも巣をしておる。 としてい。 にない。 にいっと、 にない。 にない。

一、春夏秋冬無別條 三宅

早大對滿

新京憲兵除長 小山 平 然豊かにせられよ 新京水道の水の供給を断

一、矢根私の本務に適進するのみです
一、 避暑なぞご言ふ事は考へた事もありませぬから何處がよいか判りませね
一、 何ご申しても自分の職務に急ぎに奪詞する事に依つて汗を流す事が一番の領夏 東征する早大第二軍を迎へ祈 から あす午後三時

現代計會の上層の階級にある 現代計會の上層の階級にある

上げて居ります

る以菓子玄安心して買る店

(三)

ぎわの方へほかしなが

の手入れ

お台所メモ

つたりしてるるのは實にい

いものですが、次のやうにすりちで一ばん加減がむづかし

一普通一

男と女と何れが

お酒に强いか

つきりと美しい にり白粉のつけ方

殊に新京のご婦人方 今頃お化粧の心

るないこさ)の方が、却つて (生へぎわが三本足になつて (生へぎわが三本足になつて

・日本髪の方には、きうし、をねつておくて食しうござる イカラださされて思ります ておいて、後にM 字型に白粉ないここ)の方が、却つて 最初粉が水の白粉を薄くつけ 白粉一

木髪で坊主首の方 を失張り甘 布にボリブランパウダー

に磨粉を拭きさつておきますけて磨き、乾いた布巾で綺麗

は一寸面白い問題で、誰でも女性何れが残いかさいふこさ

モルモットでは断然女性 で手入をしておかなくてはなりで手入をしていつもびかく まづ熱温で汚れを洗ひ

のです はなれるくらるの程度がい も も参加する答である

家庭で出來る

カツレツの揚げ方

△湖坡東京支計語點看圖。 大森。中外商業深井の諸氏 記者團來京 東京其他から 問日程

口油が充分熱くなつたさころ

り返してま

るるが、八月分の巡回警音版のあが、八月分の巡回警音版の回転間を行って

四、二十五日

8に耐匪廿のレコード 東上金 礼等のテナー線原義江氏はさ アナー義江さん また國防

イ赤サハマとサテニテ版 セエリ ナラ マ ヌ エ切りゲカスパラベ調酬 ニエニニニニニ五一 80五大人〇三三一〇〇

献金

サヤハフコ ナマナエ レズグゴビ ローロ三大 ・ クタフメタボアスヒ小連 ・ パースラ ・ マコタルナラ 9 キノ 筒子 ・ エローーニニー四四五 ・ 五五七二〇〇大五四二

ブ藤木三乳ラ 精 輪母 Ξ 笠京

澤山着荷 本洋行 致しました

安眠するには つすりと

の内を食へば人間は下

海の外から

明の修築病蔓延し現在

の方法を参究中でわる の方法を参究中でわる

の第一要件は心の平静でありま

怖るべき牛 斯實屯方面へ

上にのせ、少し温り氣のあ

おさしたならばよく水気を

の畜牛に七月五日頃より病名 沿線拉哈站東方吉斯肯屯一帶(テチハル一日發減額)齊克

し死に至る怖るべき病魔で

新京映画鑑賞會

(近日上映)

して登山の製分を需喫出來る 仕掛けさなつてゐる

スエー、 飲食店等を設け座

超突飛的の高塔で

口天体觀測の探略度

町すれ中途には合計四百台の

一大四〇呎の高度宏昇塔を

秋の孔子祭を控へ 樂舞練習開始 への改及を警戒してゐる

的改良を加へ馬力應用の1小完全なる夜間探照燈に物

スリファー博士は従来の

文教部禮教司で 京。同第二班五日午典四時 ||特|||十五分のルピンより來||同紀者タラブ員同日午後|||

各種印刷を製本印刷機械及材料

る無機を御領ちする際にしました 機能注意犯罪限に成功して共によ

即小賣 北原紙店

電話三世の一

を はある密域に足を いっした。 ま井郷に置ってしまひました。 ま井郷に置ってしまひました。 ま井郷に置ってしまひました。 ま井郷に置ってしまひました。 ま井郷に置ってしまひました。 ま井郷に置ってしまひました。 まけましたが、焼きはなしも止まっている(かりで受く概要の表演に

普最近の被表に依れば全米

ントンに在る米姆歯科警

米湖の虫館亡総論

に対した。それから世をするめて居ります。それから世をするのである。 をするめである。それから世をするのである。 がは他の要素の様に歌中形もあります。 をするのである。 をするのである。 をするのである。 である。 である。 である。 である。 である。 ではいかられた。 でするのでまる。 でするのでまる。 でするのでまる。 でするのでまる。 でするのでまる。 でするのでまる。 でするのでまる。

最新發明 黑燒製法

# さいの日

解社員家族のため十六をリおい組織を京地方事務所では中間 さいつてるる に関い悪結果を招乗するものに関の悪結果を招乗するものに関い悪結果を招乗するものに関いませば民保護士 口伊姆の消防マスタ

を開びをする旨實験的確認を 内の消防手に對し酸素吸入器 を開けた消防マスクを使用す でしき命じた、是は失火の際 がしき命じた、是は失火の際 がしきので作業能力を揮に像大 

\*\*\*\*\* 第名二期 研究 員夢集 一期 簡易支那語 9 解得スン者 一期 簡易支那語 9 解得スン者 一期 簡易支那語 9 解得スン者 一期 簡易支那語 9 解得スン者 の対 二期 簡易支那語 9 解得スン者 の対 1 別 の 7 月 の 1 日 八月四日 (申込へご) 日 を) 新京東 1 孫郷四三番地 満洲語 単研究 1 社 一部 2 ま 1 各組 随時 入 1 社 2 日 全 )

三笠町三丁目八番地 會株武 新 京

電話二九四四三番

白 炭石

茂洋

食道樂 は

和并 析京大和通五一

金 親切確實な地場銀行へ 金 電話 三五六二番



田螺の黑焼で 淋病が治るか

型の一つが最表された、即ち官民合同で智囊の絞ら合ひ中官民合同で智囊の絞ら合ひ中

大博覧皆は凡ゆる点に於て世一九三七年間催予定のパリー

◆夢の様です

のなかつた神縁も殺婦の友の世界に違は止まり。三週間のんでから鑑々二三日であれた。 事に違は止まり。三週間のんでから鑑々二三日である。 事に違はれ二書を一壁もせず間の人でから翻りません。何だかけましたがほともなく仕る。

げます します。ごうぞ御贔負お引立をお願申上ールでは簡易に安價の御食事も調進致氣持のよいお座敷、おいしい和洋料理、ホ

(レストラン箱根前)

食道樂開 店御披露

\*社关連市報道街三丁日七八 電話三九六三(呼出)

煉瓦製造販賣 大連煉瓦體新京

底 質

吉野町 證

森派ベルトフィン

電20

が、たき火を取匿む四人の中身とまだ夜もあけぬので、天地は暗

間にあなされたことのあるニゴリ

電話二二八三番•工均二七六〇番

き進つて相手の奴

くしさうに話

さ」

『黄版はじめ、官通一統に選びま

ぐるり個向いた拍手に

「職児氏」

の武七郎も大郎に人むづいてき

部光はなはだなである。

酒

元

ただの歌子でもなさそ



に蘇生してをつた。それをいたは りながら上陸させ。大器小賞を診 れていつた。 辞来和磯の武七郎は、 ・ 第百十九回 溺れぬ人 回 が、いづれよりかられましたか うやらこの界限の住人とも登えな

の日を割つてどうくした液酸をきの用意にと携ってきた小さなつ たフラメは、女らしい情から草 られるかな』 だいそにふわをつないで、いそ 『いや、それよりか貴殿はなぜそ驚いそにふわをつないで、いそ 『いや、それよりか貴殿はなぜそ 町は調母の氣器へで反開した。 武七郎の質問を引収つて惨の白 老人に多少の吟味ごよちで明ねる ほど武七郎は元氣づいてみえた。

口齒科一般

田

「いかなる事情で現在の様におぼ

で相手をみた。 武七郎は横で、武七郎は横

**習学士** 

醫學士

診察時間

至午後大時(日曜祭日午後休診)

三笠

二二丁

曾我廼家

軍話二五八八

公温

仁丹敷粒で

口蕉爽快

仁丹敷粒で

胃肠强健

仁丹敷粒で

疲勞回復

**仁丹敷粒で** 忽ち清凉

配達は飛行式

2 3 74

新しき店で御**滅足**に

東三馬路五十四號

食料品と

四十の二日丁七り回

電話三七〇九米 田清三郎 期時好の動運外野 其魚テ野他的ス球 電話三四四六

洋 新 目 荷 傘傘

美酒佳肴 御倉料理席 電話三四九〇番

襖專門 梅ヶ枝町四丁目十四番地

小口齒 兒腔科 幽 曲外一 科科般 衛 京 曹昌士 安谷勇次 安谷醫院

藥 切 な

> 宮崎支店 元

三百萬人 票 三等 銀仁丹特製小袋 浪れなく進星二等 特製タオル (二枚宛) 四萬五千個 | 等景品」を販賣店で即座に差上ます が直ぐ判る『興味ある仕組み』に丹を買ふと一等、二等の當籤

